

令和3年度教育行政アンケートの結果と考察 (ダイジェスト版)

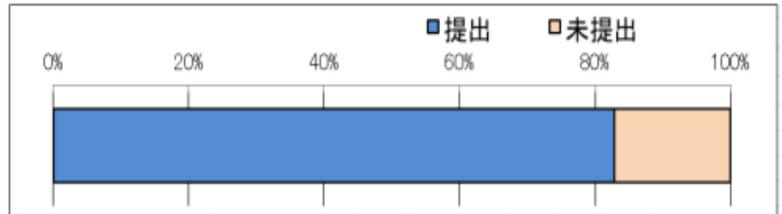
令和3年10月実施
葛尾村教育委員会

【村の教育への関心】

1. アンケートの提出状況について

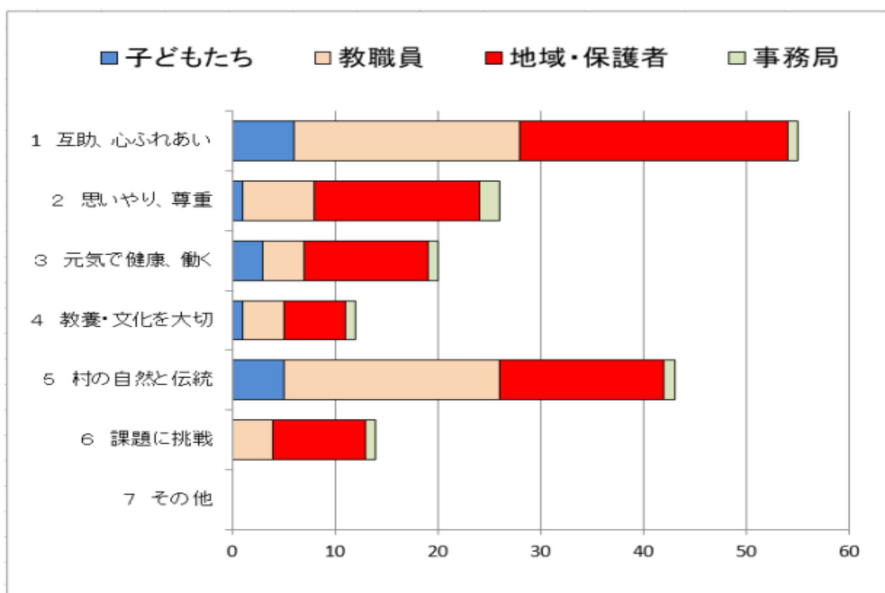
【考察】

アンケートは、105名の方々（小中学生、教職員、保護者、地域住民、教育委員会事務局）に依頼。一般回答者の5名を含めると、87名からの回答をいただきました。提出割合は82%でした。



【村の教育全般に関して】

2. 葛尾村は、どのような村でありたいですか



【考察】

子どもたちをはじめ、みなさんの傾向は大きくは変わらず、「ふれあい」「村の自然・伝統」「思いやり」などを大切にしたい村でありたいと考えています。上位の4項目については、昨年度と同じ結果ですが、「村の自然・伝統」が3位から2位となりました。

3. 葛尾村の素晴らしいところは。なくしてはいけないものは、どのようなものですか（抜粋）

（児童・生徒）

- ・こちょうらんをなくしたくないです。きゅうしょくなくしたくないです。がっこうほしいです。せせらぎそう、マンゴー、しみもち、しみちゃん
- ・ガラガラどん、さくまぼくじょう、マンゴー、おこめ、五十人山、かつらお小学校、せせらぎそう、いしいしょくどう、おふくろフーズ
- ・かつらおむら、あぜりあ、せせらぎそう、いしいしょくどう
- ・五十人山の頂上からの景色
- ・自然、特産品（凍みもちなど）
- ・素晴らしいところは、互いに助け合い、みなやさしいところ。無くしたいことは、決めたゴミ袋を使わずポイ捨てをする人。無くしていけないものは、自然を生かした村づくり
- ・昔からの郷土文化（しみもち、宝財踊り、三匹獅子 など）
- ・葛尾の自然、地域住民とのふれあい
- ・自然が豊か
- ・自然と伝統

- ・豊かな自然と村の人と交流できることです
- ・村民一人一人が支え合っている

（保護者・地域住民・教職員）

《自然》

- ◎自然の豊かさ、美しさ、動植物がたくさんいる、夜の静けさ
 - ・空気の清々しさ、水田、星空の美しさ
 - 水と空気がきれい、星がきれい
 - ・自然に囲まれた環境
 - ・自然が豊かで暮らしやすい
 - ・自然がいっぱい
 - ・のどか（山里の風景を守る）
- ・川の流れる小さな音、水質の良さも守りたい

《人間性》

- ◎人々の心が温かいところ、助け合い
- ◎思いやりがある、人情味あふれる村
- ◎助け合いや情の深さが他にない宝だと思います。役所も顔の見える距離にあり、安心できる村として永遠に継続できることを願っています
- ◎地域住民のつながり
- 穏やかな人間性
- ◎結いの精神、おもてなしの文化
- ・村民が子どもたちに優しいところ
- 一人一人を思いやり、声をかけ、あいさつを交わす気持ちや態度が素晴らしい
- ・おおらかなところ、チャレンジに寛容なところ
- ・村全体で、一人一人を大切にしているところ
- ・村外の人たちとも触れ合いを大切にするとところが素晴らしい

《伝統、教育など》

- ◎村の歴史や文化、伝統
- ・郷土芸能
- ・郷土料理のうまさ
- ・村の文化財や祭り（獅子舞）などを無くしたくないと思います
- ・葛尾大尽屋敷跡
- ・恵みの感謝祭、村民運動会、ひろがる輪、各種スポーツ大会など
- ・学校は、絶対になくしてはならない。村の発展につなげるためにも
- ・村を大切に思い帰村している方々がいること。村を思う気持ち（みんな頑張っておられる）など

【考察】

多くの方々が、「人の温かさ」「つながり」「自然の美しさ、豊かさ」を挙げ、「伝統（文化財や郷土料理など）」と続きます。昨年度と大きく変わりませんが、コロナ禍で交流が制限される中、あらためて「ふれあい」「学び合い」などの交流の大切さが再確認されることになりました。



- 4 「このような葛尾村に住みたい、と思う村をめざすために、自分はどのようなことに努めることが大切だと思いますか（抜粋）

（児童・生徒）

- ・SDGs、てあらい、うがい、トイレ
- ・べんきょう、SDGs、きょうりよく、本をよむ、あそぶ
- ・テレビの取材などが来たときに、いいことをたくさん言う
- ・勉強する、本を読む
- ・誰にでも親切に接すること
- ・いろんな人に、葛尾村のいいところを話す
- ・村に人が来てほしいから、僕たちにしかできない交流会でいろんな人に村のことを伝える
- ・普段は参加していないイベントに参加できるようにしたい

（保護者・地域住民・教職員）

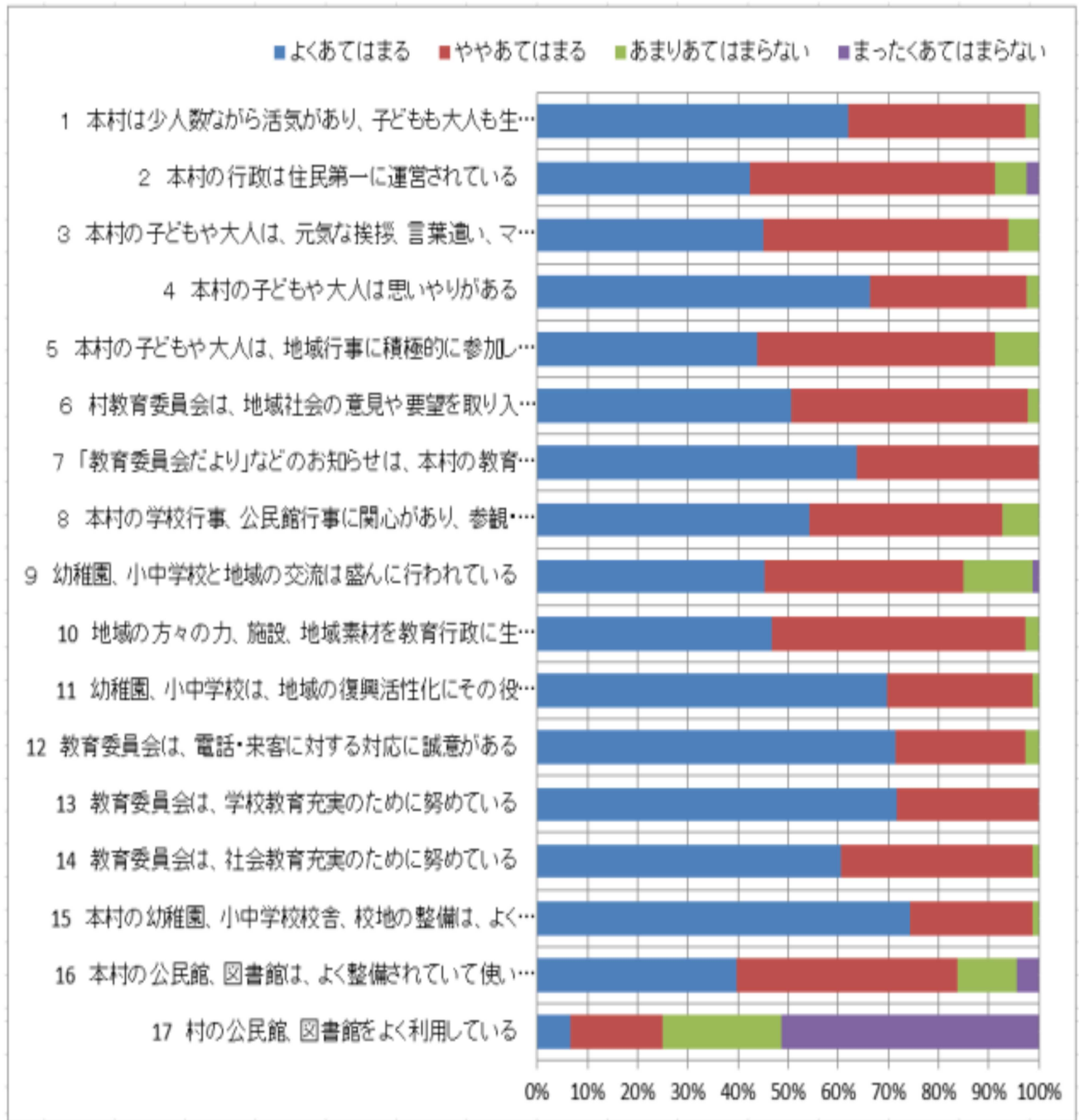
◎地域のイベント、活動に（村の行事に）積極的に参加する

- ・葛尾の地域を愛し、住み暮らす方々を愛し、自分を愛することだと思います。そして、葛尾村に関わってくださるすべての方々に感謝することだと思います
- ・自分自身が楽しく過ごすことで、葛尾の人は笑顔でいいなと外部の人に思ってもらえれば嬉しい
 - ・あいさつ等、コミュニケーションをとること
- ・新しく住む住人と交流を深め、葛尾村の良さを伝え、永住してもらう
- ・不便だと思われるが、住めば都とはこのこと。何ら問題は無いですと、聞かれれば答えられる強い気持ちです
- ・自分ができること村に関わっていくこと
- ・村に住み続け、楽しさや幸せな日々、人々のあたたかさなどの良さを発信
- ・自然環境を大切にし、健康的な生活を意識する。ボランティアとして可能なことには参加し、互いに支え合い生活していきたい
- ・人づくりこそが村づくりであり、その基礎となる幼小中期の教養を高める努力
- ・教育に対する最大の投資をする
- ・安心して住める村づくり、地域の人たちとの顔が見える関係性を維持する
- ・村で楽しんでいるところを村外にアピールしたい
- ・お互いに思いやり、助け合うこと。村への移住者（特に若い方）が増えることを願いたい。学校が存続できるように
- ・自分が村に住み続けること。村民であることに誇りを持てる村づくり
- ・どのような状況におかれても、常に声をかけてあげられる環境をつくっていききたいと思います。＊避難が続く二地域居住している方も同じ村民であることを常に意識しています
- ・幼小中に通っている子どもたちは、葛尾村が好きなので、その気持ちを大切にしながら、子どもたちの元気や頑張りを支え、発信していきたい
- ・教育環境の充実に貢献できるよう、教育のあり方を学び続けること。小さな子（0、1、2歳）を安心して預けられる環境づくりに努めることが大切だと思います
- ・村の人との関わりを積極的に持ち、自分にできることで、村に貢献できるよう努めたいです
 - ・村で行われる企画に、積極的に参加すること
- ・幼児教育の充実、人との関わり
 - ・ゴミなどなく、花がたくさんある村づくり
- ・特別にではなく、日頃から人と人とのつながりを大切にしていく。子どもたちに、ここにいることの素晴らしさを伝えていきたい
- ・地域の良さを子どもたちと見つけ、大切にしていくこと
- ・職務を全うし、思いやりのある、そして村のことを誇りに思う子どもたちを育てること
- ・子どもたちが、村の方々や村の魅力に触れる機会を多く設定する、など

【考察】多くの方々が、自分の得意分野で、また置かれている立場で、努力したいことを挙げているのは素晴らしいことです。また、葛尾村の持つ魅力、素晴らしさを大切にするとともに、それら「情報等の発信」「PR」「交流」を通して、よりよい村づくりを目指していきたいと考えます。学校教育、社会教育の充実のため、他校との交流、異世代間の交流など、多様な交流の機会づくりに努めたいと考えています。



5. 村教委・幼少中学校等の取り組みについて



* 文が途中で切れています。ご容赦願います

【考察】

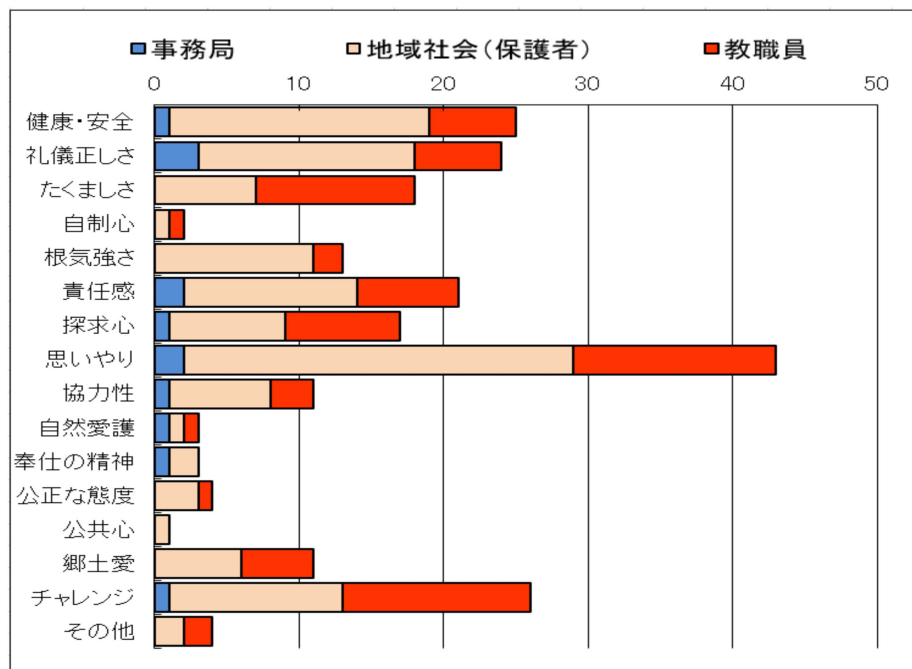
多くの項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価を得ています。わずかですが、昨年度よりもさらにその割合が多くなりました。評価が下がったのは、「9幼稚園、小中学校の地域との交流」です。これは、今年度もコロナの影響が大きかったことが原因と考えられます。



【幼稚園、小・中学校教育に関して】



1. 現在の葛尾幼小中学校の生徒に身につけさせたいことは、どんなことですか。



【考察】

「思いやり」「チャレンジ」「健康安全」「礼儀正しさ」が多く、「探究心」「責任感」「たくましさ」「協力性」「郷土愛」「根気強さ」と続きます。前年に比較すると1位「思いやり」は変わらず、2位が「礼儀正しさ」から今年度は「チャレンジ」となりました。「責任感」も増加しました。

2 学校に対する意見、感想、励ましなど、どのようなことでも。

- ・スクールフェスタを参観させていただき、特に小学生の発表では涙が出そうになりました。展示数も多く、素晴らしいと思う反面、頑張りすぎではないかと心配になってしまいました。教育委員会、幼小中学校共に、各職員の方々と自愛いただきながら、子どもたちに寄り添っていただければ幸いです。
- ・幼稚園に入園してから毎日のように園で習ったこと、覚えたことを家に帰ってから教えてくれます。少人数ではありますが、大きい園では経験できないようなこと（いろいろな種類の野菜栽培、収穫、クッキング、社会の状況SDGsに合わせた保育等）を経験させていただいていると感じます
- ・いつも本当にありがとうございます。家庭でももっとコミュニケーションをとり、学校に協力できればと思います
- ・コロナが下火になったら、村民ともっともっと交流して、大人を元気づけてほしい
- ・少人数の良さを生かし、少人数のデメリットを工夫しながら教育しているところが素晴らしいと思います。じっくりと時間をかけて、繰り返し指導・経験を重ねていただける。
- ・個の気持ちの理解度が深く分析されている点
- ・少人数教育で様々なハンディがありますが、少人数であることのメリットを捉え、これからは子どもたちへの特色ある教育を推進してほしい
- ・村内に響き渡る子どもたちの声は、村の元気の象徴です
- ・子ども全員に活躍の機会があり、みんな生き生きしている
- ・幼小中の園児、児童、生徒、先生が一体となって、学習や行事に取り組んでいるところは素晴らしいです。地域住民を取り込めれば、もっと良くなると思います
- ・新聞（民報「みんなの広場」）に掲載される中学生のみなさんの意見は、素晴らしいですね。いつまでもその気持ちを大切にしてください
- ・新聞投稿、各種コンクールへの挑戦、素晴らしい。少人数でも仲良く、先生方ももっと幼小中で交流、連携して一丸となって進めてほしい、など



【社会教育に関して】

2 葛尾村の公民館行事などで、改善点があれば。

- ・内容よりも、広報をしっかりとすると参加者が増えると思います
- ・もっと子どもがいる家庭で、コミュニケーションをはかれる行事や教室をやってほしい
- ・野球やバレーボールをやりたいという子どもがいると聞きます。人数はそろわないが、人数・年齢を問わずに、週1回でもいいので、スポーツの基礎やルールを教える教室などがあっても良いと思う
- ・三春とか、葛尾村民が多いところへ参加を呼びかける（チラシ）なかなか難しいのですかね。葛尾だけだと、人数に限られる
- ・二地域居住者でも、村に帰った人でも気軽に参加できる雰囲気作りを考慮し、送迎できることも周知する（＊帰村した人としない人の距離を感じる。公民館に近い人と少し遠い人の参加の様子がかがえるため）
- ・山登り等の企画
- ・住民に企画させてほしい。葛尾について学ぶ機会がほしい
- ・コロナの状況によって、できることとできないことがあると思います。もう少し落ち着いたら、いろんなことを計画してほしいです、など

【教育全般を通して】

○ 教育委員会や公民館へのご要望等がありましたら、ご記入願います。（検討してまいりたいと考えます。お応えすることができないこともあることを、あらかじめ御了解願います。）

（保護者・地域住民・教職員）

- ・コミュニティスクール、よりよいものになるようよろしくお願いいたします。施設面で、様々改修・改善され、とても良い環境で教育活動ができています。ありがとうございます
- ・公民館行事、楽しみにしています
- ・コロナ禍のため、生涯学習の練習休みがたびたびありました。公民館から、細やかな対応の連絡があり、良かったです。3B体操やってます
- ・昨年に引き続き、ICTの活用により教育が滞ることなく進められた。（予算、方向性が明確なため）
- ・コロナで大変ですが、村民交流になるスポーツ大会等を次年度は実施してほしい
- ・伝習館は見学したことがないので、是非、見学する機会があるとよいと思いました
- ・コロナ禍での行事の立案、運営等大変だったと思います。今の状況が落ち着き、日常生活を取り戻すことができた際は、学校と地域の方々との交流の場を作っていただきたいと思います。ぜひ運動会やスクールフェスタを村民一体の事業として再開してもらいたいです。
- ・コロナ禍で幼小中の皆さんと交流できなかったのも、次年度は交流できればと思います
- ・役場に行って、帰りに公民館にまわり、村民の人と話できる職員さんがいると助かります（昔は役場に行くと気楽に話ができたとねえという声がありますので）
- ・世代間の交流が増えてくるとよい。村民の方は、待ってられますね。コロナで大変ですが、徐々にお問い合わせしたいです
- ・本村図書館にある図書の品揃えは素晴らしい。しかし、図書室を訪れる人は少ない。もっと多くの人に来てもらうにはどうしたらいいのか…、など

アンケートへの御協力誠にありがとうございました
次年度の計画づくりの参考にさせていただきます

